

# かわきた



- 12月議会定例会 .....
- 町政を問う! .....
- 誘致企業訪問 .....

P 2  
P 5  
P 9

# 12月議会

令和7年第7回(12月)  
議会定例会  
12月2日~9日(8日間)

提出議案等は16件

すべて原案通り全員賛成  
で可決しました。

この中から主なものを  
ピックアップして紹介  
します。

## 子育て世帯の転入が増加

子育て世帯の転入が増加していることから、管外保育の委託料に500万円を補正。

## 当初計画以上の申請

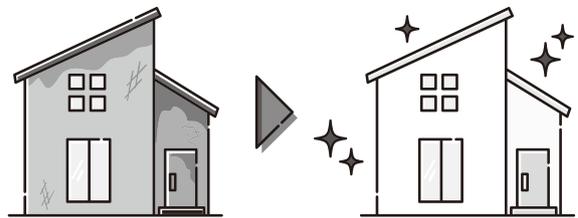
住宅リフォームや新築住宅取得奨励金、空き家等解体事業補助費について計画以上の申請が見込まれるため、990万円を追加補正。

Q 各種補助金(リフォーム、新築、空き家解体)の申請件数はどのくらいか?

A 住宅リフォーム補助金と新築住宅奨励金が増加しています。(三反田地区の宅地造成やその他の地区でも宅地開発が進んでいます。)

Q 空き家解体事業補助の解体費用の平均はどのくらいか?

A 現時点(11月末)での申請は2件で、平均坪単価は約49,391円です。



補助金の種類	現時点での交付決定件数	今後の見込み件数
住宅リフォーム補助金	33件	9件(合計42件)
新築住宅奨励金	14件	14件(合計28件)
空き家解体事業補助費	2件	1件(合計3件)

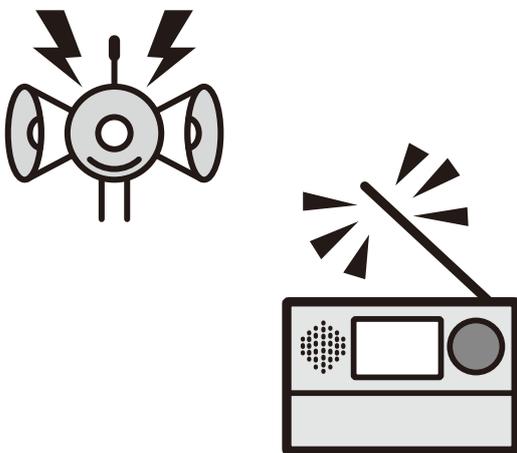


## Jアラート受信機を更新

Jアラート(全国瞬時警報システム)の新型受信機導入経費に550万円。

Q 新型受信機の更新は、各家庭の個別受信機も対象としているのか?

A 役場総務課本部にある受信機の更新です。(本部の現有機器のソフトウェアのサポートが今後終了することや新たな防災気象情報への対応などのための更新)



## 条例の一部改正

放課後児童健全育成事業、家庭的保育事業、特定教育・保育施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉法等の改正により、保育所等の職員の虐待に関する通報義務等を創設し、虐待を受けた児童への対応を強化する改正。



## 特別会計補正予算

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計において、子ども・子育て支援金制度の創設や税制改正に伴うシステム改修費用として、合計478万5千円を補正。

## 人事

固定資産評価審査委員会委員

任田 正氏



任期 令和7年12月20日より3年間  
(吉ッ屋 再任)

## 意見書

### 趣旨

内閣府調査で50人に1人とされるひきこもりは、高齢化や「8050問題」により孤立・困窮が深刻化しています。多様な原因に対し現行法では支援の限界があるため、国に基本法の策定など早期の法整備を強く求める。

### 提出者

山田 勝裕

### 賛同者

山先謙二郎 井波 秀俊

田中 秀夫 窪田 博

## 議会臨時会（一般会計補正予算）（1月15日）

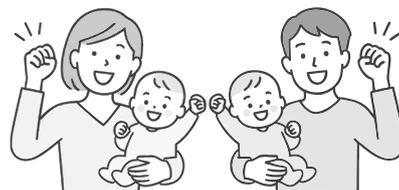
### 子育て世代を力強く支援

子育て応援手当事業に  
2520万円

物価高の影響を受けている  
子育て世帯を支援。

### 給付額

児童手当の対象となっている  
0歳～18歳の子ども1人当  
り2万円



### 家計及び地域事業者を支援

川北町生活応援商品券給付事業に6800万円  
物価高騰に伴う家計の支援と地域経済の  
活性化を図るため、全町民に「川北町生活  
応援商品券」を給付。

### 給付額

町内に住所を有する者1人当たり1万円分の  
商品券



NEXT

その他審議Q & A / 町政を問う！

## その他審議

# Q & A

**Q** サンハイム三反田の最新の入居状況は？

**A** 38戸中23戸が入居済みです。



サンハイム三反田

**Q** 複数年にわたる大規模工事について単年度の予算執行額だけでなく、全体の事業期間、概算総事業費、そして全体の計画図（地図）を示せないか？

**A** 次年度の予算提案時に、全体図と予定区間を明示します。

**Q** 転入などによる途中入所が増えた場合は？

**A** 保育所は例年4月以降産休・育休明けなどにより入所児童が増え続けていきます。

転入などによる途中入所が増えた場合は保育所間の連携などにより、できる限り受け入れしますが、それ以上となった場合は管外保育をお願いせざるを得ません。

**Q** 「管外保育」の際、町が代替施設を斡旋するの？

**A** 基本的に、転入された方が今通っているところに引き続き通うか、本人が他市町に申し込むことになるため、町から代替施設を斡旋することはありません。

**Q** 来年度、就学前児童数が増える予測がある場合、予算措置（職員増など）はあり得るか？

**A** 職員の配置人数や割り振りなどを見直す対応をします。

**Q** 学校の学級閉鎖・学年閉鎖の基準は？

**A** 閉鎖基準は概ね1クラス2割5分から3割ぐらいの欠席者数を目安に、学校（校長先生）とも相談しながら判断しています。



**Q** 小学校の複式学級や統合の人数的な基準（ライン）はあるか？

**A** 法令に基づく複式学級の基準は、1年生を含む場合、1年生と2年生の合計が8人以下、1年生を含まない場合は、隣接する学級の児童数の合計が16人以下で複式学級となります。今後の児童数の推移を見ると、中島小学校が対象となる可能性があります。

**Q** 川北温泉施設で実施した町内・町外利用者の調査の内容と結果は？

**A** 7月と11月に、入館者に町内と町外の利用比率などの実態を探る調査を行いました。この結果を参考に、今後の招待券のあり方など、検討の材料として考えています。



川北温泉

## 問 北陸先端大学との連携する教育活動は

答 教育長 交流が実現できるよう検討していく



山田勝裕 議員

Q 北陸先端科学技術大学院大学「JAIST(ジャイスト)」との定期的な連携・交流をすることは大きな刺激になります。また、英語教育推進の学習機会として活用する機関としても、定期的な連携を是非とも推進して頂き、川北の小学生・中学生への刺激にしたいと思いますが、教育長の考えは。



北陸先端科学技術大学院大学

A JAISTとの交流や連携を図ることにより、最先端の技術に触れる機会を得ることや、学生との交流を生きた学習の機会とすることは、児童や生徒の知的好奇心と国際感覚を育む上で大変有意義なことと認識しております。

今後、学校現場の具体的なニーズや実施方法に関する意見を十分に聴取しながら、実現可能な形での交流が実現できるように、検討していきます。

# 町政を問う！

12月議会定例会  
一般質問

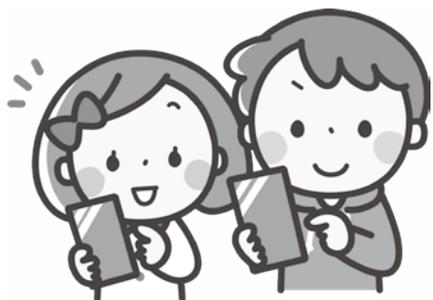


## 問 子どものスマホ長時間使用への制限取り組みは

答 教育長 家庭でのルールづくりに取り組み

Q スマホやデジタル機器の長時間利用について具体的な規制方策があるのか、学校単位で、例えば校長協議会で申し合わせするか、または、川北町PTA連合会として宣言するか、子ども達(小学生)、保護者の目に見える、耳に届く形で制限する目安があれば、各家庭でのしつけや指導もやりやすいと思いますが、各団体・組織への指導も含めて、当局の考えは。

A 利用時間についてではありませんが、個々の家庭環境や利用目的が多様であるため、一律に利用時間を示すことは難しいと考えますが、今後とも学校とともに、各家庭に対しまして、利用の現状や問題の提起、また、家庭でのルールづくりに取り組む機会の提供等を進めていきます。



## 問 随意契約の適正運用は

### 答 土木課長 適正な執行に努めています



宮崎 稔 議員

**Q** (1) 本町における競争入札と随意契約の件数・割合はどの程度か。  
(2) 随意契約の要件確認は、どのような手続きで行っているか。  
(3) 随意契約の判断理由を、公開する考えはあるのか。  
(4) 契約価格の適正性をどのように担保しているのか。  
透明性と説明責任の徹底は。

**A** 令和6年度の競争入札は33件、随意契約は122件となっており、随意契約の割合は78.7%です。

要件確認につきましては、川北町財務規則に定められた額の範囲内による契約のほか、緊急の必要により競争入札に付

することができないときなどの要件に基づいております。判断理由等の公開につきましては、来年度より土木課にて閲覧が出来るよう進めていきます。  
契約価格については、複数の業者から見積書を徴収し、最低価格の業者と契約することで適正化を図っています。



## 問 川北まつりの今後は

### 答 産業経済課長 開催に向けて検討していく

**Q** 今年の川北まつりは、第40回の記念大会という節目の年でした。初のドローンショーも実施され、大変な盛り上がりを見せました。しかし近年、物価高騰により事業費は増加しています。  
高額な公費負担を見直し、町民にとって誇りと喜びを感じられる、持続可能な川北まつりの姿を改めて考えるべきでは。

**A** 川北まつり開催後には、毎回、区長さんをはじめ、関係者の皆さまへのアンケート調査を行い、対応策について、検討と協議を行いました。

大花火大会の見直し・中止を求めるアンケート意見については、川北まつりが町の大きな風物詩となっており、委員からは

中止についての意見はありませんでした。

財政面では、3年前から観覧席料や駐車料を返礼品とするふるさと納税も実施しています。

今後については、実行委員会にて、皆様のご意見を伺いながら、開催に向けて検討していきます。



川北まつり

## 問 住居表示制度の導入は

答 町長 強い要望があれば検討

Q 住民の中には、「住んでいる地区名と番地の表示が一致していないのは、いろいろと不便なことがある」といった声が、依然として聞かれます。

救急や消防の出動時に、現場の特定がより確実かつ迅速に行えることは、町民の安全に直結する重要な要素です。

住居表示制度について改めて調査や検討の第一歩を踏み出す考えは。

A 川北町では全域が「地番表示」となっており、地区の名称と地番の名称が違う地域もごくわずかです。

住居表示を実際に導入するとなると、対象区域の住民や、隣接する地区の同意、条例の制定、審議会や説明会の開催

等多くの手続きが必要となります。また、対象区域の住民・

事業所が、ご自身で運転免許証や金融機関や保険会社等の住所地の変更手続きを行なう等のご負担に加え、町の各種システムの改修などの費用負担が発生します。

救急や消防、警察の出動につきましてもは携帯電話等の位置情報を取得しているため、迅速な対応が行えています。

導入による利便性向上と、住所表示への変更に係る負担のバランスを勘案しますと、町として、制度を押し進めることには、引き続き慎重に見極める必要があると考えています。

今後、地区からの強い要望があれば、この制度について、負担などを説明したうえで、より詳細に検討していきます。

## 問 未来に向けた環境整備は

答 町長 地域と協力して対策を講じていく



山先謙二郎 議員

Q 私の住む中島地区には、現在、所有者不明の空き家があり、玄関先の木が道路に張り出し、さらに隣の家にも木の枝が広がっており、そのまま放置すれば、道路の通行の妨げとなり、野生動物の住処になっていくのではないかと心配です。

このような所有者不明の空き家が、これから増えることも危惧されます。

所有者不明の空き家に対する環境整備と、対策が必要だと考えますが、町当局の考えは。

A 川北町の空き家について今年度は、90人の所有者に対して調査を実施し、35人から回答（回答率は38.9%）があり、そのうち利活用の予定があると回答したのは、16人で全体の2割にも満たない状況であります。

このように、空き家は所有者にとつて大きな負担となっており、対応に苦慮している方も多いのではないかと推察されます。

また、相続放棄などにより所有者不明となった空き家につきましても、今後、財産管理制度や国が定めるガイドラインのほか、近隣の自治体の取り組みなども参考にしながら、地域と協力して対策を講じていきます。



## 問 地区分担金の廃止は

### 答 産業経済課長 地区分担金制度の変更予定はない

**A** 地区や地域間の公平性及び事業の透明性を維持しつつ、地域の皆様方に事業内容をご理解いただいたうえで、地区や地域単位での受益者負担として「分担金」のご負担をお願いしているように思います。

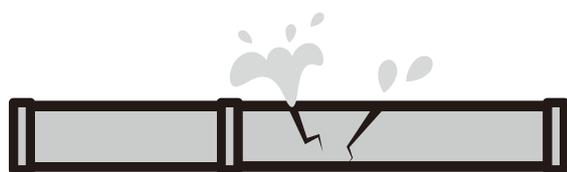
**Q** 地区分担金については、水道施設だけでなく、管路の分担金も発生し、これまでの下水道施設だけでなく、下水道の管路も、新たに更新時期を迎える地区が出て、更なる分担金の発生が見込まれるのではないかと懸念されます。

「水道管路に対する地区分担金の廃止」について、町としての考えは。



山村秀俊 議員

このような実態にあって、現段階での地区分担金制度の見直しは公平性を損なうことから、現在、地区分担金制度の変更予定は、ありません。



老朽化した水道管

**A** 百寿会館のお風呂を廃止し、空きスペースは温浴施設以外での事業用に改装してはどうかとありますが、現に利用されている方が一定数おられること、改装するにしても、次の用途及び運営方法などを決めなければいけないこと、温浴施設の廃止が老人福祉センターの趣旨に沿っているのかなどを考慮すると、温浴施設の統合は、簡単にはいかないものと思われれます。各課横断的に活用を推進する

**Q** 温浴施設は維持管理コストが大きく、共に毎年赤字であり、お互いの場所から100m圏内の目と鼻の先であり、温浴施設としての機能が重複していることから、百寿会館のお風呂を廃止し、川北温泉にその機能を集約することが必要では。

## 問 温浴施設の統合は

### 答 住民課長 統合は、簡単にはいかない

など、柔軟な発想で、活用方法を直視す時期に来ているのではないかと考えておりますので、老人福祉センターの趣旨に沿ったお年寄りの「居場所づくり」「憩いの場」の提供などができないかを模索し、今後とも、町民の皆様が利用しやすく、多くの方に活用される施設となるよう管理・運営していきます。



百寿会館(男風呂)

**(株)フェローテック 半導体製造業界の最先端技術企業！**

(株)フェローテックは、半導体製造装置向けのセラミックス部品などを主力とするグローバル企業であり、世界各国に拠点をもち、最先端のものづくりを支えています。

**川北町に石川第3工場として竣工！**

令和7年7月、川北町東部地区工業団地(三反田)に「フェローテック石川第3工場」が竣工しました。



同社が石川県へ進出したのは平成元年（1989年）で、白山市の向島、漆島を中心に開発・生産拠点を展開してきました。

第3工場は鉄骨造2階建て、延べ床面積約1万3千平方メートルの規模を有し、半導体製造装置に用いられる高温や腐食に強いセラミックス製部品の製造を担います。

令和7年12月時点の従業員数は90人で、今後は取引先からの需要拡大に対応するため、隣接する工場用地に第4工場の建設計画をスタートさせています。

**4年間で、売上高3倍の成長企業！**

半導体は、私たちの身近な「スマートフォンや自動車、家電品等」に欠かせない基幹製品であり、近年生成AI分野にも需要が拡大しています。フェローテック社はその重要な分野で高い技術力と信頼を築いてきました。

同社の連結売上高は、2025年3月期において約2,740億円に達し、わずか4年間で3倍の成長を遂げる等、国内外から注目を集める半導体製造業界における優良企業です。

**暮らしを支える最先端技術！****あしがき**

このような最先端技術を担う企業が本町に新たな生産拠点を構えたことは、地域経済の活性化や雇用の創出に大きく寄与するものであり、川北町にとっても大変意義深い出来事です。

町と議会としても、同社の事業が円滑に進み、地域と共に発展していくことを期待するとともに、今後も企業誘致と産業基盤の強化に取り組んでまいります。

総務産業常任委員長 宮崎 稔

# 視察研修 被災地に学ぶ 防災対策

—平成30年豪雨災害・広島県坂町の教訓—

総務産業常任委員会

想像を超えた甚大な被害

平成30年7月、西日本を中心に記録的な豪雨が発生し、広島県坂町では土砂災害や河川の氾濫により、多くの尊い命と暮らしが失われました。

被害状況は、死者21人（うち災害関連死5人）、行方不明者1人、家屋全壊297件、大規模半壊485件、半壊507件に及びました。



土石流により多くの家屋が被災した

避難行動が間に合わなかった

多くの犠牲者を出した要因について、坂町では「避難行動が間に合わなかったこと」が大きいと分析しています。災害後の住民アンケートでは、避難情報が発令されていたにもかかわらず、「自分の住む場所は大丈夫だろう」という認識から避難しなかった人が多かったことが明らかになりました。その結果、異変に気付いた時には既に家の外が激流となり、避難が困難な状況に陥っていたと推測されています。



氾濫により避難所への移動が難しかった

一度と犠牲者を出さない  
災害に強いまちづくり

坂町では、復旧・復興プランに基づき砂防ダムの建設などが進められるとともに、災害の記憶を次世代に伝える取り組みが行われています。自然災害伝承公園が整備され、新たな水害碑や災害伝承ホールが建設されました。ホー

ルでは写真や映像を通じた防災学習が行われています。また、中学校では「待つな！迷うな！逃げろ！」を合言葉に、防災教育の充実と早期避難行動の徹底が図られています。



坂町自然災害伝承公園内にある坂町水害碑と土石流で流出した約16トンの巨石

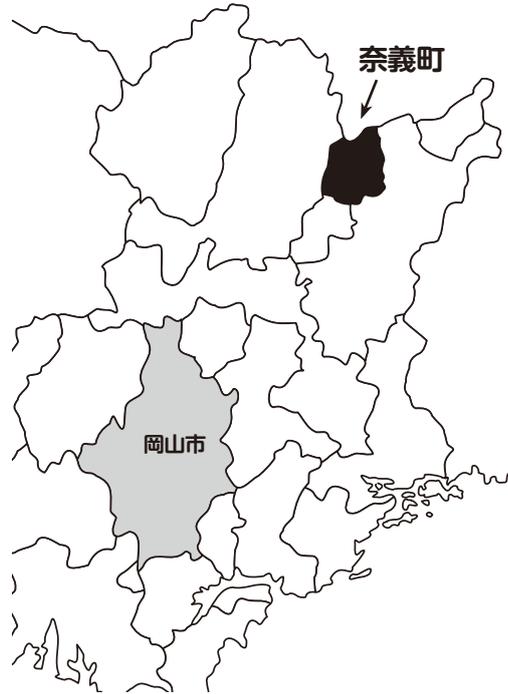
坂町の教訓を川北町に活かす

川北町では、昭和9年の大水害以降、大きな災害を経験してこなかったことから、防災意識が決して高いとは言えません。今回の視察を通じて、「想定外の災害はいつでも起こり得る」という認識を町民全体で共有し、平時から実践的な防災対策を進める必要性を強く感じました。

総務産業常任委員長 宮崎 稔

# 視察研修 出生率日本一の町に学ぶ 奈義町子育て応援宣言

教育民生常任委員会



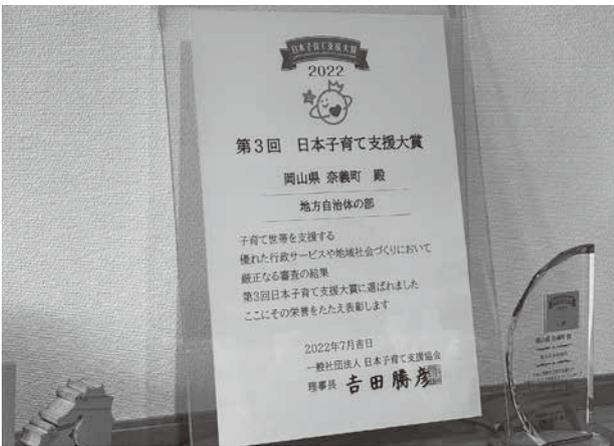
出生率日本一の町、岡山県奈義町に視察に行き、令和元年には「2.95」となった町の施策について学んできました。奈義町の人口は約5,500人で町の予算も約50億円と川北町と同じような規模です。

出生率向上の要因は、子育て支援の充実につきまします。町全体で子育てを支援することに力を入れており、若者が安心して結婚・定住できるのです。「奈義町子育て応援宣言」を高らかに打ち出しています。つまり、まず



アピールすること注目を集め、具体的には、小中学校の教育教材費を無償化、高校生への就学支援として年額24万円支給（通学支援が主）、在宅育児をする保護者に毎月15,000円給付、大学生に町独自の無利子奨学金制度を設立し卒業後の町定住で全額返済免除、などの支援策を実施しています。

驚いたのは、12人のALT（英語指導教員）を町独自に配置し、園児から中学校までその学年に一人ずつ英語指導に入っているとのことでした。出産祝い金や医療費無料等は川北町と同様でしたが、施設関係で



も子育て支援拠点「なぎチャイルドホーム」で町民同士が支えあう環境を整備や地域内のちよっとした仕事を斡旋し、仲立ちする事業で働く場所を確保したり、また、町営住宅の整備で住環境を提供したりと子育て環境の充実は目を見張るものがあったように思います。

川北町がすぐ応用できることはなかなか大変かもしれませんが、地域の実情に応じた子育て支援を充実しなければならぬとの思いを新たにしました。

教育民生常任委員長

山田 勝裕



NEXT

みんなの広場

## 川北町で頑張っている人

小竹 銀蔵さん (橘)  
ヴァンセドール白山 (プロフットサル選手)



### ●自己紹介

現在は大学生活を送りつつ、日本フットサルリーグ(Fリーグ)ディビジョン2に所属するヴァンセドール白山でプレイしています。シュート力を強みに、今季はリーグ得点ランキング2位を記録しました。目標はチームをFリーグディビジョン1へ昇格させること、そして得点王の獲得、いつか日本代表としてプレイすることです。日々の積み重ねを大切にしながら、応援してくださる方々に夢や元気を届けられる選手を目指しています。



### ●川北町へのひとこと

普段私は、チーム練習以外にも、町外のジムでトレーニングに取り組んでいます。一昨年にサンフィールド川北という多目的運動公園もでき、子供から大人まで多くの人が気軽に運動できる環境が整ってきていると感じています。

また私は川北温泉もよく利用しており、練習や試合後の疲れた体を整えるリカバリーの時間を過ごし、とても助けられています。

### ●川北町へ要望!

更に幅広い年代の皆さんが気軽に利用できるトレーニングジム等の運動施設も充実すれば、私自身も通いやすくなり嬉しいです。

町民の健康増進だけではなく、町民同士の交流の場としても期待できると思います。

### ●議会へひとこと!

日頃より、町のために御尽力いただきありがとうございます。川北町は、私にとって心と体を支えてくれる大切な町です。

これからも町発展のため、よろしくお願いします。

### ☆取材後記

年末の忙しい時に取材訪問しましたが、快く引き受けていただきました。

銀蔵くんの子どもの頃しか覚えていなかったのが、躍動感あふれるプレー写真から、逞しく爽やかな青年になったなアと感じました。

ぜひ日本フットサル(Fリーグ)のディビジョン1に昇格させ、川北町から日本のエースとして得点王を獲得してほしいと思います。精一杯の応援をしたいと思います。ガンバッ!!!

取材者：中村 勝巳

議会一般質問を  
YouTubeで配信中



お問い合わせは、川北町議会事務局まで  
直通(ダイヤルイン) ☎076(277)1109

### 編集後記

2月3日で大寒も終わりとなりますが、まだまだ寒さ厳しい今日この頃です。皆様方お体をご自愛ください。

さてサンフィールド川北の大型遊具が、3月末で完成します。多くの子供達で賑わうことを期待します。

今年の干支は「午」です。何事も「駆け上がり」全てが「馬くいくように」、議会として努力していきますので、本年も宜しくお願致します。

林 幸雄

### 広報編集特別委員会

委員長 中村 勝巳  
副委員長 山先謙二郎  
委員 井波 秀俊  
委員 山村 秀俊  
委員 林 幸雄